

乗務中の喫煙に思うこと

5日乗務中の喫煙についてニュースが流れた。朝日新聞によると・・・

JR東海の20代の男性車掌が今月2日、走行中の東海道新幹線の運転室内で電子たばこを吸っていたことが同社への取材でわかった。同社は乗務中の喫煙を禁止しており、「処分も含めて厳正に対処する」としている。

JR東海によると、車掌は2日夜、新大阪発東京行き「のぞみ408号」(16両編成)の先頭と最後尾にある運転室のうち、最後尾側で加熱式の電子たばこを吸っていたという。車掌は発車する際の安全確認などを担当していた。

乗務終了後、車掌が吸い殻を持っているのを別の乗務員がを見つけ、同社が事情を聴いたところ喫煙を認めた。運行への影響はなかったという。

乗務中の喫煙は規程でも禁止されており、戒める事態だ。たとえどのような言い訳も通用しないことは当たり前のことだ。報道によると「別の乗務員が見つけ～」と書かれている。同乗クルーと思われるが、違法行為をとがめるにはかなり勇気のいる行為であったであろう。同一クルーで乗務していても、規程マニュアル違反が発覚または疑わしい時はそれを指摘し報告義務があるということが実践されたケースだ。今回の報道で気づいたことは「お互いが注意し指摘する関係を作ることが示されている」とマニュアル違反は厳に慎むことなのかもしれない。

喫煙をするという安易な気持ちが自らの将来をつぶしかないと思わねば・・・。
同じ乗務員として複雑な気持ちだ・・・。